



新年のご挨拶

理事長 大江正照



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。今年こそは、どうか平安に過ごせるようにと祈っております。もう、コロナは懲り懲りです。何とか早く終息してくれる事を願うしか手はありません。一日も早くそのような日が来ることを待ち望んでいます。泣き言はこれくらいにして。

今年の最初の催しは2月6日に予定している「新春のつどい」です。コロナの動きの波を大きく逆立て成功させ、皆さんと一緒に祝いしたいと思っております。どうか協力して下さい。一緒にがんばりましょう！



話は変わりますが、私は今年の秋で傘寿を迎えます。人生の締めくくり（終活）をしなければならぬ、もう引け時だと思っていますが任期の間は頑張っていきたいと思っておりますが体調不良の時などはご迷惑をおかけするかもしれません。皆様の配慮をお願い申し上げます。

謹賀新年



「障害者自立支援法」が施行されて15年が経過した。会員の皆様方におかれましては創意工夫をしながら日々自立生活を送られておられる事と思います。

2013年4月に施行された「障害者総合支援法」も活用し、障害者相談員にも相談頂きながら今年もお互い助け合いながら良い年にしましょう。

本年もよろしく願いたします。

事務局

発行日 令和4年1月1日
発行所 〒601-8321
京都市南区吉祥院
西定成町35
京都市洛南身体障害者福祉会館内
NPO 法人
京都市肢体障害者協会
TEL 672-3615
一部20円

俳句

初詣
はつもうで
巫女の衣装の
輝やけり
かが

若葉

短篇集

前田美智子

終息しないコロナ禍の中、自粛を余儀なくされ生活は遠出もままならず、原稿に書く程の出来事もなくて、随分前の体験ですが……

熱気球に乗って

もう何年ぐらい前になるかな。日曜日の朝のラジオから、好奇心を誘うイベントの紹介が流れた。それは熱気球を体験できるとの事。「ワオッ!」「乗りたい!」

一度は乗ってみたいと思っていたバルーンに、滋賀県・安曇川町の小学校で三十人限定で試乗体験の受付開始の呼び掛けでした。

スポーツ仲間と慌てて車を走らせた私です。

立命館大学のサークル活動の一環として、一般にも搭乗体験をと参加者を募った開催だが、ピンクと黄色の大きな熱気球を目の前に心が躍った。

私と友人が乗った黄色のバルーンは、ゴウゴウと炎を上げるガスバーナーを囲んで、二人の学生さ

んと四人で上空へと上がった。眼下に安曇川町を見下ろして快適の一言。デッカイ熱気球に初めて搭乗した気分は、私の好奇心を満足させました。

ロシア・ティの味は？

数年前に大阪・豊中市にあるロシア総領事館を訪ねた事がある。と言っても簡単に出入りの出来な所だが、その日は一般に開放していたのでチャンスとした。

ロシアのアカデミー芸術院に籍を置く日本人画家の絵を、総領事館に展示して、一般入場者を歓迎するという趣旨のものでした。

こうした場所に縁のない私です。ので、友人を誘って、さっそくに訪ねたが応接間等に置かれた家具はヨーロッパ調と違い、アジア風でもなく……という、遠い国を感じさせる雰囲気があった。

絵画の鑑賞後、くつろぐ空間に出されたのがロシア・ティ。総領事館の要員の娘さんだと思える白い肌の美少女が、一人ずつに気配りをしてくださった。

絵画の方は、失礼ながら大作というほどのものも無かったように思うが、美少女から手渡されたロシア・ティの味は格別でした。

肢体障害の実年齢を考える

副理事長 小坂義夫



「肢体障害者」と言っても個々に障害が異なる。四肢・上肢・下肢という区分の仕方もあれば、先天性と後天性、更には事故や病気による後遺症等、組み合わせは無数にあると言っても過言でない程である。そのような多様な障害者が一つの「肢体障害者協会」という組織にまとまろうと言うのだから、ある意味無理な話である。

そこで今回は、自分自身の体験を元に、自立生活が出来ている程度の肢体障害で特に脳性小児マヒによる障害者と、他の原因で肢体障害者になった場合を考えてみたいと思う。

僕自身、還暦を超え「緊急事態宣言」が開けた秋頃から急に体力が落ちてきた。気力はあるのだが体力がついていかない。老化のせいかもしれないが、ここである人から聞いた言葉を思い出した。

「脳性小児マヒの場合、健常者の1.5倍の速さで老化する」と「実年齢プラス10歳の計算で老化する」と言う話である。これがすべての人に当てはまるとは思わないが、少なくとも僕の周囲にいる同年代の仲間達の多くに当てはまっている事は確かである。この事によって、これから一緒に協会を支えていこうと考えていたメンバーが僕も含めて脱落しようとしている。但し、思考能力は健全だ。

しかし一方で、脳性小児マヒでは無く事故や他の病気等で肢体障害者になった方々の実年齢は健常者と変わらない人が多い。

つまり、これからの協会運営を考えた場合、役員人事を年齢だけで考えるのではなく、適材適所の分業制を取り入れる必要があるのではないのだろうか。「ほほえみ交流事業」で子供達に「人には得意な事と不得意な事がある。得意な事（長所）を認め合い、不得意な事（短所）は助け合う。それが『共生社会』の基本だと思う。不得意な事（短所）を貶しあっても、対立が生まれるだけで、何も良い事は無い。」と話していますが、この事は、同じ肢体障害者であっても障害部位・障害程度・残存能力そして個人差が最も解りにくい体力年齢を考えた時、当協会運営にも当てはまる事であり、人事や協会組織のあり方も、この事は配慮すべき課題ではないだろうか。

また以前に他の団体で役員をしていた時、事業部長が「知恵を出すか、金を出すか、労力を出すか自分の出来る事をしたら良い。しかし、口を出すだけなら居ない方が良い。」と言われた事が印象に残っている。「口を出す」とは、思いつきで言ったり、他人の意見に根拠のない文句を言ったり、自分の考えを押し通して失敗しても責

任を取らない人等である。どんな組織にもこのような人はいるが、このような人に惑わされない組織を作る事が重要だろう。

話が少し横道に逸れたが、肢体障害者特有の問題として、障害の原因によって体力年齢や思考年齢に個人差が大きくこの事を理解する事が重要であり、単に実年齢だけで判断するのでは無く、知恵・労力・金のいずれがその人の「得意な事」であり「不得意な事」であるのかを理解し合い・助け合いながら、口を出す人にはキチッと責任を持ってもらい、その上で役員人事や組織運営を考えていく必要がある事を忘れてはならないだろう。

会員の高齢化は他の団体とも共有する問題である。そして京都市も「障害者団体の高齢化」は障害者施策にも影響が出てくると判断し、ホームページの作成等で各団体の活動を周知しようと協力してくれている。

しかし当協会には高齢化以外に、「体力格差」という問題もある事を忘れてはならず、当協会独自の最も重要な問題ではないだろうか。

また京都市の障害者施策は「京都方式」と呼ばれ他都市と比べて充実した内容になっており、それを目的に転入して来る人さえあり、京都市の財政が厳しくなっている中、行政と連携しながら、京都市民である当協会の会員の生活環境を守っていく事も、協会の大きな責務の一つであると考えている。

京仏壇京仏具・お仏具ご修復

ご本堂内装・お納骨壇

創業229年 お仏壇仏具づくりただ一筋に



京 仏 具

小堀

<http://www.kobori.co.jp>

本店/〒600-8159 京都市下京区烏丸通り正面上る
フリーダイヤル0120-27-9595・FAX075-341-4128

Yahoo!ショッピング <http://store.yahoo.co.jp/kobori/>

ご寄付

山形区

木下文男様
西昭夫様
田嶋一弘様
今西謙様
池邊明様
譽田巖様
中澤紀子様

(令和3年11月30日現在)

ありがとうございます。



京都身体障害者結婚相談所

「ふれあいバスツアー」

チコ5歳(プラス?歳)

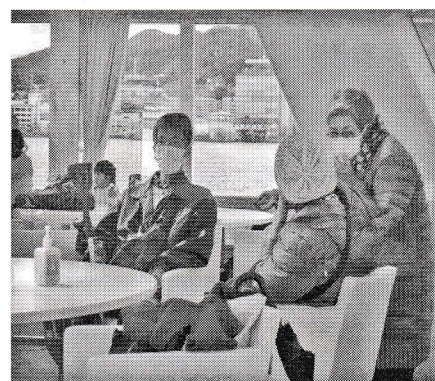


コロナの影響を受けて京都身体障害者結婚相談所の事業も延期や中止になっていましたが新運営委員長の三好俊昭さんの前向きな行動力で11月27日の土曜日に「ふれあいバスツアー」が開催されました。ミシガンクルーズ、近江八幡休暇村で昼食、ラ・コリーナのお買い物というスケジュールです。一週間くらい前から天気予報が気になっていましたが曇り空みたいです。雨さえ降らなければ大丈夫と思っていたのに、前日の予報では京都市内には少し傘マークが、ましてや滋賀県には傘マークがず



らりと並んでいます。その上、今期一番の冷え込みになるとか! 急遽、雨具を詰め込み、このところ歳のせいか体温調整がきかず、いつも寒がりの私。ヒートテックのシャツをもう一枚追加し、ホカロンも詰め込みました。ところがなんと、当日の朝は陽ざしが出た青空です。気分も明るく集合場所の二条駅を定刻に出発しました。せめて琵琶湖のクルーズが終わるまではこのお天気が持ちますようにと願いながらの出発でした。一週間前にお見合いをしてお付き合いを始められたカップルも参加してくれています。このツアーでお互いの良いところをたくさん見つけられて、二人の交際が順調に進みますように!

心配していた雨のほうですがクルーズ船の中でも青空が見えて、久しぶりの琵琶湖がきれいです。おまけに大きな虹が長い間、見えていて幸せ気分です。クルーズを終えてバスに乗り込むとやはり天気予報通りで、雨が降り出してきました。バスを降りてから食事会場まで濡れないかなあ〜と気になっていましたが琵琶湖大橋辺りまで来ると雨は止み青空も見えます。菜の花畑で有名な守山にある花畑の菜の花は、葉は青々と茂って



ましたが花が咲くのはもう少し先のようです。でも、琵琶湖越しに見える比良山系の山々の冠雪は陽ざしを受けて素晴らしい景観です。昼食会場までは雨に降られず到着です。食事中は雨が降っていたらしいのですが、私たちがバスに乗り込む頃には晴れていて、乗り込んで走り出した途端に大粒の雨が降り出して、みんな濡れずにセーフでした。降ったり止んだりの雨の中をバスは走り、最終目的地のラ・コリーナに着いた時は幸運にもまた雨がやんでいました。買い物途中にふと外を見ると、大粒の雨が降っています。木々に囲まれた長い素適な遊歩道の帰り道は濡れるのを覚悟していましたが、何と、何と、集合時間間際には雨が止み、遊歩道は濡れずにゆっく

ガイドさんが「私は強烈な雨女なんですよ!」と言ってられました。が、それに負けない晴男・晴女さんがいたのだと思います。相談所ツアーとしても長岡京の和田さんの琵琶湖クルーズ船中での粋な計らいで、一組のカップルが生まれて昼食中も二人は笑顔で話されていて、このお二人は今後お付き合いをされることになりました。コロナの影響で参加者も思ったより少なくスタッフも最小限で出かけましたが、みんな楽しそうに和気あいあいの有意義な「ふれあいバスツアー」でした。



ブライツホール

北ブライツ (堀川 紫明) 中央ブライツ (五条 東山)
南ブライツ (油小路 八条) 西ブライツ (五条 西大路)
山科ブライツ (五条 外環) 伏見ブライツ (新堀川 丹波橋)
向島宇治ブライツ (宇治 横島) 大津ブライツ (大津 駅南)

家族葬専用 別邸

別邸 向島宇治 (宇治 横島) 別邸 大津 (大津 駅南)

お葬式 家族葬

公益社

☎ 0120-004-200

公益社 京都

検索

マスク

伏見区 若葉



コロナと言うおそろしい病気が日本にはいつて早や、一年、二年になるのでしょうか。とつぜんマスク、マスクとやかましくなりました。日本人は昔から寒い冬になると寒さよけにマスクをしたりもちらん風邪をひいた時でもあるが、このおそろしいコロナと言う病気が日本にはいつて来た時には皆様も周知のとおり、マスク不足で色々あった。でも、外に出ると幼児から老人迄しっかりとマスクをして外出をしている。日本人の良い所だと思う。ある新聞に明治大学名誉教授 青山侑の「コロナ対策と日本人の国民性(抜粋)」と言う記事があつて読んだ。

入国制限については、日本は建前としては、厳しかったが入国してから監視はさほどきびしくない部類に入るようだ。特に昨年4、5月の第一回の緊急事態宣言の時には、多くの国民が自粛要請に従った。マスクの着用や会食、イベ

ント自粛等についても欧米諸国の人々がおどろく程、日本国民はルールを守った。コロナや五輪を巡って欧米の学者とオンラインで討論すると「日本では国民が自粛要請に従うのはなぜか」と問われる事がある。国民性のちがいについて「君達はワイルドだが日本人はマイルドなのだ」と説明。「日本社会ではピアプレッシャーすなわち同調圧力は社会が、独自の行動を取ろうとする人に対して同調するよう圧力をかけることだ。同調

あう人を見てアツと取りに帰った事だ。今は忘れる事もなくなった。もう、何十年?も前になるがマスクで忘れられない事がある。テレビの冬の街頭インタビューを見ていた。何人かの白人、黒人の答は「日本は美しい」「日本人は親切だし、食べ物美しくておいしい」これがほとんどだったが、一人の黒人青年のこたえに思わず笑ってしまった。「日本と言う国はなんとたくさんドクターがいる国なのだ」と思った。で、訳を聞いたアナウンサーも笑っていたが私もアツと笑ってしまった。それは街の中にマスクをした人達が多く見られたからで、青年の国でマスクをしているのは医師達だけだとそれだけビックリした様子。日本人は昔から寒い冬の外出時に寒さよけにマスクをする人達が昔から見られたから、それでビックリした。でも、今は何処の国でもマスクはあたりまえになっているので黒人青年もそのうちの一人になっている事だろう。

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

先日「ほほえみ交流事業」で伺った中学校の生徒さん達から感想文が届いた中に「障害の害の字は使わない方がよいと聞きました」と言う内容の物があつた。確かに一時は「障害者・障害者・障がい者」の議論があり、今も結論が出ていないらしいので調べてみると、NHKが「障害者」を使う理由として、

(1)「障害」というのは障害者本人ではなく社会の側の障害の事であり、障害者は社会にある障害と向き合っている人たちだという考え方が根本にある

(2)「障害者の気持ち」を汲んで「労働」という気遣いは、少々見当違いであり、現実的な社会の障害を取り除く事の方が大事である

と言う物で、その要因は「障害」は、「医学モデル」(障害の原因は個人にある)と「社会モデル」(障害の原因は社会にある)という考え方があり、この考え方は「社会モデル」に基づく考え方だと言える。という内容でした。

「社会モデル」がユニバーサルデザイン等を考える基本であり、これが「共生社会」を考える基になっていると考えるべきだと思います。

編集後記

2022...



Quiz 脳トレクイズ

問題

今年、2022年は昭和何年でしょう?

1. 昭和34年
2. 昭和97年
3. 昭和100年
4. 昭和111年

応募方法

- ① クイズの答え
- ② 住所
- ③ 氏名
- ④ 電話番号
- ⑤ 1月号広報紙の意見、感想
- ⑥ 必ず官製ハガキにてお願い致します。

正解者には、抽選で3名様に図書カード1000円分をお送りします。

締切り3月10日(消印有効)

〒601-8321 南区吉祥院西定成町35
洛南身障福祉会館内
肢体障害者協会クイズ係まで

◎ 前回の答えは、

3. 「平成24年」でした。
- 応募総数11通。当選者は、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。